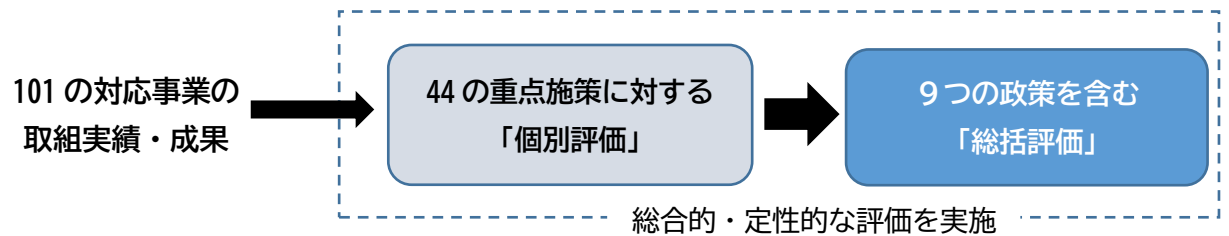


政策公約評価方法(案)

政策公約については、9つの「政策」のもと、44の「重点施策」を掲げ、その実現に向けて、令和4年度は101の「対応事業」に取り組んでおり、その評価にあたっては、公約の実現に向けて取り組んでいる対応事業の取組実績や成果を基に総合的・定性的な評価を毎年度行うこととします。

評価区分については、「達成度」による評価を基本としますが、政策公約の達成については、短期間で達成可能なものから、市長の任期である4年間を要するものまで、公約の内容によって異なることから、毎年度の評価時点での取組状況をもとにした「進捗度」による評価を加えた二段階での評価とします。

評価の実施に際しては、はじめに44の重点施策ごとの「個別評価」を、次に個別評価を基に、9つの政策の評価を含めた公約全体の「総括評価」を行うこととします。



(1) 評価区分

「達成度」の評価区分は、「達成できている」「一部達成できている」「達成できていない」の3区分とします。

さらに、「達成できていない」については、取組の「進捗度」による評価を行うこととします。

<評価区分>

達成度	達成できている	: 重点施策/政策の内容が達成できている
	一部達成できている	: 重点施策/政策の内容が一部達成できている
	達成できていない	: 重点施策/政策の内容が達成できていない
進捗度	順調に進んでいる	: 達成に向けて取組が順調に進んでいる
	あまり進んでいない	: 達成に向けて取組がなされているが想定通り進んでいない
	未着手	: 検討に着手していない

(2) 評価対象期間

市長就任（令和3年11月17日）から令和4年7月末時点まで

重点施策の評価例

政策 2 八戸圏域の特性を活かした経済活性化(7 施策)

八戸圏域の農業・畜産・水産の連携を図るほか、産業都市八戸の経済効果を圏域に波及させていきます。

重点
施策

- 1 ウィズコロナ・アフターコロナ時代に向けた「八戸市経済再生ビジョン」を策定し、地域経済の再生・回復を図ります。
- 2 水産業の未来を考える「(仮称)八戸水産アカデミー」を設置します。また、養殖事業等の「つくり育てる漁業」の推進に向けた研究会を立ち上げ、多様な水産資源の確保に努めます。
- 3～7 略

政策 5 安心・安全な市民の暮らしを守る(5施策)

超高齢社会への対応、障がいのある方への日常生活支援、大規模災害への対応を図ります。

重点
施策

- 1～4 略
- 5 多発する異常気象や、将来発生が予想される巨大地震とそれに伴う津波など、大規模災害から市民の生命と財産を守るため、防災・危機管理部門を強化します。

【重点施策の評価】

各重点施策に掲げられている内容(〇〇を策定、△△を行う、□□を推進 等)の取組について「達成できている」「一部達成できている」「達成できていない」の達成度の評価区分を判断します。(101の対応事業の評価をするものではない点に注意)

さらに、「達成できていない」と判断した場合は、重点施策の達成に向けた取組について「順調に進んでいる」「あまり進んでいない」「未着手」の進捗度の評価区分を判断します。

評価に当たっては、各重点施策の対応事業の取組状況(資料3)を参考にします。

(例)

- ・政策2の1について、「八戸市経済再生ビジョン」はまだ策定していないが、策定に向けて取組が進んでいると判断
→達成度は「達成できていない」、進捗度は「順調に進んでいる」
- ・政策2の2について、「八戸水産アカデミー」は設置されているが、「つくり育てる漁業」の推進に向けた研究会は立ち上げられていないと判断
→達成度は「一部達成できている」
- ・政策5の5について、防災危機管理部門の強化が実施されていると判断
→達成度は「達成できている」